

2030 年展望と改革タスクフォースの開催について

平成 28 年 9 月 30 日
内閣府政策統括官（経済社会システム担当）

1. 趣旨

現在安倍政権は、最重要課題である 2020 年頃の 600 兆円経済の実現、2020 年度の財政健全化目標の実現に向けて、政府を挙げて取り組んでいる。その 2020 年の先を展望すると、2030 年には、団塊世代が 80 歳を超える中、労働や消費市場の変化やインフラ老朽化が進むといった課題がある一方、第 4 次産業革命・Society 5.0 を通じた経済社会構造の変革、グローバルには近隣アジアの経済発展や地球温暖化問題への対応等、ダイナミックな変化にも直面する。

このような構造変化が見込まれる 2030 年に向けて明るい道筋を描くためには、将来の経済社会を見据えつつ、そこからバックキャストすることで、足元から今後に取り組むべき政策課題の全体像と対応方針を描くことが必要である。このことを通じて、現在政府を挙げて取り組んでいる構造改革に横串を刺し、デフレ脱却・経済再生に向けた取組みを加速させることを目指す。その基本的考え方を検討するため、2030 年展望と改革タスクフォース（以下「タスクフォース」という。）を開催する。

2. 構成

- (1) タスクフォースは、別紙に掲げる者をもって構成する。
- (2) 座長は、必要に応じ、関係者の出席を求めることができる。

3. 庶務

タスクフォースの庶務は、政策統括官（経済社会システム担当）において処理する。